

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要

人口:約3,800人 面積:212.13km²



四国の水を賄う水源のまち!



西日本最大級の「早明浦ダム」が広大な湖面を形成
棚田や溪谷などの水源環境、土佐あか牛の最大産地

今後のビジョン・計画

SDGsと住民幸福度に基づいた誰ひとり取り残さない持続可能なまちづくり

位置づけ 第7次土佐町振興計画(総合計画) 第2期土佐町総合戦略 他

水源涵養・保全
市街地と農村部の相乗生業を通じた水源保全

地域の産業のリデザイン
地域の産業創出
全世代・全員活躍

人材を育てる土壌づくり
地域の教育環境の充実



人口減少下でも持続可能な水源のまちに!

SDGsに関する特徴的な取組

★SDGsの視点を踏まえて町総合計画を策定

・町民が大切に守ってきた「これまでの土佐町」を町民幸福度調査で把握するとともにこれからもそれを持続可能な姿にしていくためSDGsの視点を取り入れ、町の総合計画を策定

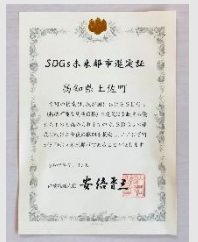
○ 2030年の地域のリーダーたちが主体

・2030年に町のリーダーとなる現在20代～40代が主体となって計画の骨子を検討。



○ 高知県初の「SDGs未来都市」に選定

・高知県第1号のSDGs未来都市に選定。四国内でも第2号



★「水源のまち」の持続可能性をテーマに、様々な取組を実施

(土佐町SDGs未来都市計画URL http://www.town.tosa.kochi.jp/publics/index/177/detail=1/c_id=2020/page2020=1/type014_2020_limit=5/#page177_2020_750)

・四国全体の水を賄う「水源のまち」がこれからも持続可能であるためには、地域において多様な営みが維持されていくことが必要。



高等学校魅力化やICT教育、探究的な学び、起業教育など、質の高い学びの機会の保証



カナディアンカヌーやSUPなどのアウトドアアクティビティ、競技カヌーの振興など、豊かな水を活かした産業創出



棚田や山林など、生業を通じた水源保全や涵養の実態把握